

デザイン基準

1. 適用範囲

この基準は、「千葉都市モノレール駅名標更新業務委託」を実施する際のデザインに適用されるものである。

2. 駅名標に記載する項目

(1) 駅名

①ホーム上

ア) 日本語表記（漢字仮名交じり、もしくはカタカナ表記）

イ) ふりがな

ウ) 英語（修正へボン式ローマ字）

エ) 中国語（簡体字）

オ) 韓国語

なお、以下の駅については特記事項があるため注意すること。

- ・スポーツセンター～ふりがなは不要。

英語表記はローマ字無しで英語名 Sports Center のみを記載。

- ・桜木～副駅名「加曽利貝塚」をア) の後に括弧閉じで記載。

また、ウ) の後に英語名 (Kasori Shell Mounds) を括弧閉じで記載。

- ・市役所前～ウ) の後に英語名 (City Hall) を括弧閉じで記載。
- ・県庁前～ウ) の後に英語名 (Pref.Office) を括弧閉じで記載。
- ・動物公園～ウ) の後に英語名 (Zoological Park) を括弧閉じで記載。

②駅末端部及び駅舎入口

ア) 日本語表記（漢字+ひらがな、もしくはカタカナ表記）

イ) 英語（修正へボン式ローマ字）

ウ) 中国語（簡体字）

エ) 韓国語

表記は〇〇「駅」となるよう、各言語において「駅」を意味する単語を記載する。

英語 (Station)、韓国語 (역)、中国語 (站)

なお英語を短縮表記する場合は Sta. を使用すること。

その他の記載内容は①に準じる。

(2) 次駅名、前駅名の表記

①ホーム上

ア) 漢字表記

イ) 英語（修正へボン式ローマ字）

ア) イ) の記載方については①と同様とする。

ウ) 当該ホームに到着する列車の進行方向が分かる表記の仕方（次駅名表記の近く）

②駅末端部及び駅舎入口～表記不要

(3) 駅ナンバリング

①ホーム上

(1) ①の駅名表記及び(2)①の次駅表記に対応するナンバリングを表示する。

②駅末端部及び駅舎入口

(1) ②の駅名表記に対応するナンバリングを表示する。

(4) 当社ロゴ

①ホーム上～表記不要

②駅末端部及び駅舎入口～駅名表記と併せて表示する。

※なお、各言語の表記内容は別紙「駅名標表記一覧」のとおりとする。また、ホームの駅名標は設置位置別に記載内容（次駅・前駅、進行方向等）が異なるため、注意すること。

3. 文字のフォントと大きさ、配置

(1) フォントは以下のとおりとし、すべて横書き表記とする。

日本語～新ゴシック／Bold 英語～Helvetica／Bold

中国語～Hei Regular 韓国語～Arial Unicode MS

(2) 文字の大きさは漢字表記をaとした際、その他の表記は最大でa×50%とする。

(3) 文字の配置はデザインにより自由とする。

4. 配色

(1) 駅ナンバリング、社名ロゴは以下のとおり。なお、支給するデザインデータは改変せず使用すること。

社名ロゴ



千葉都市モノレール
Chiba Urban Monorail

駅ナンバリング



(2) 盤面の基調色は白、文字は黒を基本とするが、デザインによりカラーライン上に白抜き表記することも可とする。

(3) 当社のコーポレートカラーを使用する際の色は以下のとおりとする。

・濃青・・・D I C 6 4 1

・薄青・・・D I C 6 3 9